

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	グローバルスタディ 3 (モンゴル) (Global Study3 Mongolia)					担当教員	石川 英樹 (イシカワ ヒデキ)	
2020-23 年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	協同学修型 AL
	2013-0-53-049	教養科目	選択	2 単位	1-4 年次	集中		
2024-25 年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	

① 授業のねらい・概要
夏季休業期間中、約 1 週間程度のモンゴル現地研修がある。現地教育機関での語学研修やモンゴルの文化体験を含む活動、現地の学生等との交流などを通じ、世界の多様性の一端を体感するとともに、自らの成長につなげることを目的とする。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力／情報収集・分析力
③ 授業の進め方・指示事項
事前学習ではモンゴルの概要、生活上の注意などを学び、研修目標を決める。長岡大学に在学中のモンゴル人留学生との交流を通じて、モンゴルに関する理解を深める。現地研修中は、研修の内容を記録し整理する。事後学習では、全員が研修の成果のプレゼンテーションを実施する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特になし
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
テキストは使用しない。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
必要に応じて、事前学習の授業において紹介する。
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
現地では安全面に配慮しつつ様々なことにチャレンジし、モンゴルの人々との交流を楽しんでください。積極的に活動することを期待します。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 事前準備（情報収集・事前手続きを含む）と課題設定をした上で、現地研修に参加できた。 (ii) 現地研修に参加し、学びや気づきを研修日誌に記録できた。 (iii) 現地研修での成果を、文章と口頭発表によって他者に理解させることができた。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 事前準備と課題設定をして現地研修に参加	右のAの各項目に加えて、現地研修で様々なことに期待以上に積極的に取り組んだ	事前学習に参加し、詳細な現地情報を収集し、旅券取得等必要な諸手続きを一人で済ませられ、現地研修で取り組む課題を設定した上で、現地研修に参加できた	事前学習に参加し、現地の情報収集、旅券取得等必要な諸手続きを概ね一人で済ませられ、現地研修で取り組む課題を設定した上で、現地研修に参加できた	事前学習に参加し、教職員の支援を得て、現地の情報収集、旅券取得等必要な諸手続きを済ませられ、現地研修で取り組む課題を設定した上で、現地研修に参加できた	現地研修に参加できなかった
(ii) 現地研修での日誌、記録	右のAの各項目に加えて、客観的な感想や考察（例えば新たに見つかった課題など）も記述できていた	現地研修に参加し、研修日誌に研修内容、主観的な感想や気づきが、分かりやすい文章で詳細に記録できた	現地研修に参加し、研修日誌に研修内容、主観的な感想が記録できた	現地研修に参加したが、研修日誌に研修内容しか記録できなかった	現地研修に参加できなかった
(iii) 現地研修の成果の発表	右のAの各項目に加えて、今後の学び・学生生活に対する課題と具体的な対策の計画も整理され、一層の成長が	研修日誌をもとに、現地研修の内容、課題への取り組み方、学び、気づき、今後の課題を他者が理解できるように文	研修日誌に基づいて、研修内容、課題への取り組み方、学び、気づきを文章化し、それをもとにプレゼンテーション	研修日誌に基づいて、研修内容、課題への取り組み方、学び、気づきを教員の支援を得ながら文章化し、	現地研修に参加できず、レポート作成・発表ができなかった

	期待され、発表会にて審査員から高評価を得られた	章化した。また、それを元にプレゼンテーションし、質疑に適切に応答できた	できた。	発表資料を作成してプレゼンテーションできた	
--	-------------------------	-------------------------------------	------	-----------------------	--

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			45%	40%	15%		100%
(i) 事前準備と課題設定をして現地研修に参加			5%	5%	5%		15%
(ii) 現地研修での日誌、記録			30%	5%	5%		40%
(iii) 現地研修の成果の発表			10%	30%	5%		45%
フィードバックの方法	実習関連の注意事項は、全体での指導に加えて、授業の内外で随時個別に指導する						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	オリエンテーション、研修地紹介、渡航準備説明	モンゴルについて情報を収集しておく	120 分
2	現地研修での目標設定、情報収集	モンゴルへの渡航に必要なものを調べ、準備する	120 分
3	現地研修での活動計画の策定	現地で達成すべき目標を考察して整理する	180 分
4	現地研修での活動計画の発表、ディスカッション	自身の現地研修による学びの目標、達成のための計画をレポートにまとめて発表する	240 分
5	現地研修	研修日誌等をつけ、①研修内容、②研修で得た気づきなどを記録する。現地で出された課題に取り組む	180 分
6	現地研修	研修日誌等をつけ、①研修内容、②研修で得た気づきなどを記録する。現地で出された課題に取り組む	180 分
7	現地研修	研修日誌等をつけ、①研修内容、②研修で得た気づきなどを記録する。現地で出された課題に取り組む	180 分
8	現地研修	研修日誌等をつけ、①研修内容、②研修で得た気づきなどを記録する。現地で出された課題に取り組む	180 分
9	現地研修	研修日誌等をつけ、①研修内容、②研修で得た気づきなどを記録する。現地で出された課題に取り組む	180 分
10	現地研修	研修日誌等をつけ、①研修内容、②研修で得た気づきなどを記録する。現地で出された課題に取り組む	180 分
11	現地研修	研修日誌等をつけ、①研修内容、②研修で得た気づきなどを記録する。現地で出された課題に取り組む	180 分
12	現地研修	研修日誌等をつけ、①研修内容、②研修で得た気づきなどを記録する。現地で出された課題に取り組む	180 分
13	現地研修のレポートの作成・プレゼンテーションの準備	研修日誌等を参考に、レポートを作成する。レポート内容を土台にしてプレゼンテーション資料の準備に取り組む	240 分
14	プレゼンテーションの準備と予行	プレゼンテーションの準備・完成・練習	240 分
15	成果発表と振り返り	プレゼンテーションの準備。全体の振り返り	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
協同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性